※令和４年度以降入学生用

学校番号	403

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	実教出版「歴史総合」（歴総 703）						
副教材等	山川出版社「歴史総合資料集」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

①単なる暗記に終わるのではなく、歴史的な流れを大切にし、事件が起こった原因や背景、その結果による世界の変化を理解する。
②歴史を過去のものではなく、現在のものとするため、主要な人物について、できうる限り、残した言葉や生き様を紹介する。
③歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
④歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2　学習の到達目標

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象につ いて，よりよい社会の実現を視野に課題 を主体的に追究,解決しようとする態度 や，多面的・多角的な考察や深い理解を通 して涵養される日本国民としての自覚， 我かんが国の歴史に対する愛情，他国や 他国の文化を尊重することの大切さにつ いての自覚などを身に付けている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	序章１節 歴史の扉 「歴史と私たち」世界とつながる旅行の歴史 ～身近なものから歴史を考えてみよう	○諸資料を活用し，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が，日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	a:私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。	定期テスト	定期テスト レポート課題	レポート課題 振り返りシート
	序章２節 「歴史の特質と資料」	○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物，文書，図像などの資料を活用し，資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	b:複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現する。			
	第１章１節 近代化と私たち 「近代化への問い」	○交通と貿易，産業と人口，権利意識と政治参加や国民の義務，学校教育，労働と家族，移民などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりし，近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現する。	c:近代化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。			

	第１章２節 「結びつく世界と日本の開国」	○18 世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して，18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴，アジア各地域間の関係，アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，18 世紀のアジアの経済と社会を理解する。	a:18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。			
	第１章３節 「国民国家と明治維新」	○帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して，帝国主義政策の特徴，列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し表現することを通して，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する	c:列強の進出と植民地の形成，日清・日露戦争などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解しようとしている。			
	第１章4節 「近代化と現代的な諸課題」	○自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点を基に主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，現代的な諸課題の形成に関わる近代化の歴史を理解する。	b:近代化に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，主題について，現代的な諸課題に関連付けて，多面的・多角的に考察し，その結果を表現している。			
	第２章１節 「国際秩序の変化や大衆化と私たち 「国際秩序の変化や大衆化への問い」	○国際関係の緊密化，アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭，植民地の独立，大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化，生活様式の変化などに関する資料を活用	b:国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について，諸資料から，情報を適切に読み取ったり，まとめたりしている			
	第２章２節					

2	「第一次世界大戦と大衆社会」	○第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。	a:第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。	定期テスト	定期テスト レポート課題	レポート課題 振り返りシート
	第2章3節「経済危機と第二次世界大戦」	○経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際協調体制の動揺を理解する。	b:経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。			
	第2章4節「国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題」	○自由・制限，平等・格差，開発・保全，統合・分化，対立・協調などの観点を基に主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。	c:「国際秩序の変化や大衆化と私たち」における自身の学習の経緯について，自身の関わりを踏まえて振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。			
	第3章1節グローバル化と私たち「グローバル化への問い」	○冷戦と国際関係，人と資本の移動，高度情報通信，食料と人口，資源・エネルギーと地球環境，感染症，多様な人々の共存などに関する資料を活用し，グローバル化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを	c:グローバル化に伴う生活や社会の変容について，学習の見通しを立て，課題を追究しようとしている。			

		表現する。				
3	第3章2節 「冷戦と世界経済」 第3章3節 「世界秩序の変容と日本」 第3章4節 「現代的な諸課題の形成と展望」	○地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際政治の変容を理解する。 ○アジア諸地域の経済発展の背景，経済の自由化や技術革新の影響，資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して，市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，市場経済の変容と課題を理解する。 ○科目のまとめとして，現代的な諸課題に関する主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，歴史的経緯を踏まえて，持続可能な社会に向けて，現代的な諸課題の展望を探究する。	b:地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。 a:石油危機，アジアの諸地域の経済発展，市場開放と経済の自由化，情報通信技術の発展などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，市場経済の変容と課題を理解している。 c:「歴史総合」で学んだ全ての内容における自身の学習の経緯について，自身の関わりを踏まえて振り返るとともに，次の学びに向けての課題を見いだそうとしている。	定期テスト	定期テスト レポート課題	レポート課題 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度